

図書館展示リスト(2004.10.25-11.5)

行末の番号は研究所整理番号

☆：手帳、論文等 ★：書籍 ○：写真 ◎：パネル

A：ハーヴァード時代及びそれ以前（展示ケース大）

- 1：○八高陸上競技部 写真：昭和5年(1930)2月
- 2：★Ariel the 1933：ローレンス時代の卒業(?)アルバム E-①-20
旧師の写真等あり。都留先生はハーヴァードカレッジに転校して卒業
- 3：○ローレンスカレッジ長距離ランナーチーム 写真：1932 Arielに掲載されたもの
右から二人目：都留先生
- 4：☆1932-3年の Academic Papers
*Transition of thought from the primitive to the modern A-②-17/3
*W. James: Pragmatism (Oct.27, 1932) A-②-17/2
*After reading "A theory of the labor movement" by Prof. Perlman A-②-17/5
- 5：☆ハーヴァード3年の時の講義録及びレポート(cf.自伝 p.99)
*タウシグ “Non-competing groups” (バインダー 7-(2)) A-②-17/7
*ホワイトヘッド “On construction and criticism of a rational system of beliefs”
(バインダー 7-(1)) A-②-17/6
- 6：☆Harvard C.Senior のときの Term-Paper (20 Dec. 1934) ブリントン教授に提出した小論文
“Dialogue between Diderot & Marx” 原稿 A-②-16/1-2
- 7：☆Harvard C.Senior のときの Honor's Thesis (学部卒業時の優等学位論文) A-②-15/1-2
*An aspect of Marx's methodology in economic .. (10 Apr. 1935)
- 8：☆Harvard 学部卒業時に受賞した「ファイ・ベータ・カップ」Key X-4
“Shigeto Tsuru Harvard 1935” の記載あり
- 9：☆1936-40 のその他主な学術論文等
*(1)A Case study of the contrast between causal and functional relations (1936)
Schumpeter's Seminar A-②-17/8
*(2)The Value analysis and the theory of international trade in Marxian economics
(1938) Leontief's Seminar A-②-17/9
- 10：○結婚後浅間丸にて渡米直後：昭和14年(1939)8月
- 11：★1940の Dissertation (学位論文)
Ph.D. Thesis “Development of capitalism & business cycles in Japan ...”
提出した製本及びそのアブストラクト A-③-9

12 : ★The Theory of capitalist development : principles of Marxian political economy /
Paul M. Sweezy. N.Y., Oxford Univ. Pr. 1942 A-③-7

☆ 1936-40 の主な学術論文 “On Reproduction schemes” 原稿
(バインダー 12 : Sweezy の本に収録)

B : 戦時中 (展示ケース大)

1 : ☆ 「日支事変」の機会にペンネームで執筆

* “Japan's economy under war strain” (1941) コピー小冊子 (バインダー 14)
A-①-18

★及び 少し題を変えて掲載した図書 (欧文叢書 2) A-③-8

2 : ☆引揚日記 (手帳) A-②-4

3 : ☆交換船で帰国時アフリカから出した絵葉書(Polana Beach)(1942/7/21) Samuelson 夫妻宛
日記のページと同じ場所 B1-①-9

4 : ☆昭和 19 年(1944)陸軍入隊前嘱託研究員として奨学財団からの給与により 1 年足らず
東亜経済研究所に勤務した時の通知 (1944/10/21) A-③-20

5 : ☆引揚時サムエルソンに後事を託した手紙と名刺 他 (1942/6/6) B1-①-9

6 : ☆二等兵日記 A-③-3

☆ノート断片 (二等兵日記からの書き起こし) F-②-50

7 : ☆軍隊手帳、恩賜のたばこ (バインダー24) A-③-27

8 : ★昭和 20 年(1945)クーリエ(伝書使)としてソ連に出張した折記念に買った
「戦争と平和」3 冊本 E-①-64

9 : ☆昭和 20 年(手帳 : 1945 年 3 月)ソ連へ伝書便のころのクーリエ日記と
外務省二等書記官の辞令(1944/12/9) A-③-5, A-③-18/9

K : 戦後 (内容から B:戦時中の後ろに記載) (展示ケース斜)

1 : ☆GHQ のパス A-①-33/1

2 : ☆占領軍との往復文書下書き Douglas MacArthur, Tetsu Katayama の名前あり M-②-61

3 : ☆安本日誌 5 冊(Nov.1946 - Apr.1948) 及び辞令 A-③-4,18,20
ESS から経済安定本部時代の政策立案、調整の過程を綴る

4 : ○1947 年経済安定本部首脳陣の写真

5 : ★経済実相報告書 : 最初の経済白書 バインダー33

6 : ★『我国経済の戦争被害』 / 経済安定本部総裁官房調査課 A-①-15

7 : ☆木戸幸一戦犯予審通訳時の手記 (1945.12-1946.1)と書き起こし原稿 : バインダー30、X-11-1

8 (壁面) : ◎シャウブ勸告 : 1949 年春池田勇人大臣により公式顧問役に任命された。

1950 年にも来日。 (写真と辞令) パネル : I-2

C : 一橋大学、研究所関係 (展示ケース大)

- 1 : ☆経済研究所員発令通知 (1948/9/6) : 東京産業大学、東京商科大学 2 種類の表記がある
A-③-18/9(日付順)
- 2 : ☆大塚金之助氏葉書 研究所就職の頃(1948/9/21) B2-甲 A02
- 3 : ☆安井琢磨氏手紙 研究所就職の頃(1948/8/1) B2-甲 A-07
- 4 : ☆研究所関係自筆メモ (1949-50) C-①-1
- 5 : ★昭和 25 年(1950) 経済研究所要覧(所員の写真と人名がパネルにあり) C-④-1/1
- 6 : ☆研究所長就任の頃の経済研究所新着図書リスト (Apr. - June 1949) C-①-2
- 7 : ☆経済研各研究員の研究計画書および報告 (1950 年前後)
野々村一雄、山田秀雄、松川七郎氏他 C-①-5
- 8 : ★Hitotsubashi in pictures (1951) C-①-27
- 9 : ☆1949 年 4 月 Harvard の旧師、旧友に Library 補強を依頼した手紙下書き バインダー37
- 10 : ☆都留杯(陸上競技部記録保持者に贈られた):陸上競技部 OB 寄贈
- 11 : ☆バート・フランクリン文庫購入時の文書(1974) C-③-2
○整理の為にアメリカから招聘された K.E.カーペンター氏、及びフランクリン文庫の一部
C-③-2 に追加

D : 献辞のある図書 (展示ケース中)

- 1 : ☆ちゅじじへ (甥姪からのバースデイカード) A-①-8
- 2 : ★キーマン・フライアーの「キーツ詩集」と書き込み E-①-62
Kimon Friar はギリシアの詩人で、都留先生とは 1932 年以來の友人 (附: キャプション)
壁にパネルあり (M1)
- 3 : ★☆The diplomacy of imperialism, 1890-1902 A-②-14
Willian L. Langer (1935) 筆者からの直筆の手紙付き(1935/10/9:手書き)
都留サインあり (1935/10/9) cf: 自伝 p.109 バインダー: 9b-(2)
- 4 : ★Japan's emergence and a modern state / by E. Herbert Norman E-①-32
N.Y., Inst. of Pacific Relations 1940 本文に謝辞あり(p.34) A-②-13
(1933-35 年にかけて都留氏の協力により出版された著作のひとつ)
と献辞のある翻訳書『日本における近代國家の成立』 E-②-13
- 5 : ★昭和 32 年(1957) 6 月にハーヴァード大学経済学部送別会でサインして送られたシュンペー
ターの本 E-①-44/2
右下に Leontief, Samuelson の署名が見える。
(Schumpeter, Joseph A. "The Theory of economic development" E-①-44/1)
- 6 : ★『日本の姿勢: 戦後二十年』笠信太郎(別に手紙あり: M5) E-②-21
- 7 : ★『TVA: 民主主義は進展する』和田小六。和田小六氏は都留先生の岳父 E-②-22/1
- 8 : ★Galbraith "The age of uncertainty" E-①-8
『不確実性の時代』原著: 背広ゼミで翻訳(研 Bb-1460)

E : 業績 (展示ケース中)

- 1 : ★太平洋問題資料 第1回読書研究会報告(1947/5/31) A-①-20/1,20/2
- 2 : ★『戦争と平和に関する9章』平和問題談話会。雑誌特集号(『世界』1962.9号) A-③-10
「ユネスコ発表八社会科学者の声明」1948/7 に対してまとめられた日本の学者討議の成果
(1949/3)「戦争と平和に関する日本の科学者の声明」「科学者京都会議声明」(1962/8)等収録
- 3 : ★TVA 研究懇談会資料 第1号(1948)ー A-③-11
昭和21年(1946)11月30日懇談会第1回会合
- 4 : ☆経済安定本部総合調整委員会副委員長辞令
- 5 : ☆第2回日本学術会議 当選通知 (1950/12/12) A-③-20
- 6 : ☆フランス、ルワヨモン「所得と富」学会(1951)、学長中山伊知郎よりの辞令 (1951/8/15)
A-③-20
と大川一司氏と連名の報告原稿 J-①-10
- 7 : ☆ネール首相と会った日の日記(1952/12)(cf.自伝 p.287)
：インド政府主催の科学者会議に出席の折 A-②-7
- 8 : ☆ECAFE での討議資料(..on capital/output ratio)及び原稿 ケース C
- 9 : ☆IEA 第4回 1974 Budapest の会議プログラム Z-③
☆IEA 第6回 Mexico パンフレット：IEA 会長として最初の会議 Z-③
- 10 : ★1972.6 開催 「経済と人間尊重の社会」国際会議報告書
“Economie et Societe Humaine” A-②-10
☆同上 出版契約書 ジスカール.デスタン大統領他のサインあり(1972/6/12)B-④-75/1

F : 公害関係 (展示ケース中)

- 1 : ☆「公害研究」7巻4号(1978) 自筆漫画原稿 B1-④-1/9
- 2 : ☆公害研究委員会 会議報告 第1回(1963年7月)~ H
- 3 : ☆現地視察報告 昭和39年(1964)6月14日~16日 三重県四日市市 H-①-8/4
最初の現地視察 (cf.自伝 p.342)
- 4 : ☆大阪空港裁判証人調書速記録 (青焼きコピー) H1-11
- 5 : ☆水俣病学者、文化人アピール(1988.3) H-①-14/2
アピール呼びかけ人依頼手紙 (宮本憲一) 他公害関係資料 H-①-14/1
- 6 : ☆日本環境会議(1979.5) 開催予告、パンフレット H1-⑥
- 7 : ☆東京決議 原稿 及び公害シンポジウム開催案内 H-①-4
同案内状(日本語) 昭和44年12月13日 H-①-3/18
- 8 : ☆公害シンポジウム会議報告掲載雑誌(Information bulletin) H-①-1/1
- 9 : ★Proceedings of international symposium : Environmental disruption, March 1970, Tokyo
カバーあり(表紙漫画 by Leontief : Cartoon by Prof. Wassily Leontief) A-②-11
- 10 : 公害関係各種資料 H-①-2/11,2/14,2/16,2/50, H-①-5

G : 図書館出品物 (展示ケース中)

☆シュンペーター手書きメモ他

☆サミュエルソン「経済学」原稿

◎都留先生学長時代の写真 (額入り)

◎中山伊知郎先生学長時代の写真 (額入り)

★Samuelson” Foundations of economic analysis” E-①-40 研 Ba-370(80)

H, I : 自筆原稿及び図書 (展示ケース斜 2 台)

* : 掲載誌判明

- 1 : ☆米国経済学会の近状 (1942/9/22 日付) F-①-1/1
- 2 : * ☆学問の自由を求めて (「世界」通号 67(1951.7))p.23-24 F-②-10
- 3 : ☆「パイプの煙」原稿 (1953-55 勁草書房) + 東畑精一氏礼状(B2-甲 A-04) F-②-34
- 4 : ☆冷戦の見とおしと日本経済 F-②-35
- 5 : * ☆ケインズ「一般理論」の衝撃 (エコノミスト 74(24)(1996/6/11)p.93-97 F-②-18
- 6 : ★「米国の政治と経済政策」1944 有斐閣。帰国後最初の出版。
同上手書き原稿 A-③-28
F-①-1/2
- 7 : * ☆Memorable and quotable; John Kenneth Galbraith F-①-68/5-10
パネル N7 に似顔絵あり
- 8 : * ☆"North-South" relations on environment (Selected essays on ...V.1) F-②-69
- 9 : * ☆Economic development and human resources - Japan's experience F-①-48
(図書館 Bn-A28?)
- 10 : * ☆A Peripatetic economist F-②-70,71
(Banca Nazionale del Lavoro Quarterly Review (研:ZF-14)Sept. 1982, p.227-44
- 11 : * ☆Reflections on economic development and social change: essays in honor of Professor
V.K.R.V. Rao / Reviewer Shigeto Tsuru (研 : Bb-2783)ラオ氏の著書への書評 F-②-74

J : 手紙 日本人 (ケース縦大)

- 1 : 荻須高德 リトグラフ「モンマルトルの一角」 1975 年退官後都留先生の願いにより製作されたもの
- 2 : ◎荻須高德手紙 B2-乙 26
- 3 : ◎大江健三郎 B2-乙 18
- 4 : 平山 郁夫 リトグラフ「薬師寺」ご夫妻の金婚式記念に都留先生の願いにより製作されたもの(1989/6/29)
- 5 : ◎ (キャプションなし) : 柴田敬夫妻 (撮影年月不明) : 写真と手紙 G2
- 6 : ◎大塚久雄 B2-乙 53

- 7 : ◎野々村一雄 手紙
- 8 : ☆◎「文藝春秋」1962年8月号 グラビア「同級生交歓」
左：野々村一雄(熱田中学)、右：鈴木圭介(熱田中学と八高) 手紙と写真 G3
- 9 : 蠟山政道 (巻紙) 昭和43年11月25日 学士院会員に選ばれた時のお祝状への礼状
B2-乙 03
- 10 : 大塚金之助 B2-甲 A02
- 11 : 丸山眞男 B2-甲 67
- 12 : 小宮隆太郎 B2-乙 55
- 13 : 高木八尺 B2-甲 A05
- 14 : 清水 昆：寄贈図書への礼状、巻紙、筆書き、河童の絵あり。 B2-戊 14
- 15 : 山口青邨 B2-丁 63
- 16 : 小田実 B2-丁 02
- 17 : 吉田茂：巻紙、筆書き B2-乙-46
- 18 : ◎中山伊知郎先生の手紙：[1950]/5/25 筆：(学長:1949-1955) B2-甲 A03

K：戦後 →B:戦時中の後ろに記載

L：手紙 外国人（ケース縦中）

- 1 : ◎Samuelson クリスマスカード他
- 2 : ◎1952年10月2日付け Maurice Dobb の手紙「経済研究」への寄稿について言及 F6
- 3 : ◎1941.5.3 Oscar Lange 「交友抄」にある就職斡旋の手紙 (cf.雁信録 p.37) D5
- 4 : ◎Hansen, Alvin 夫妻。手紙と写真 (バインダー)
- 5 : ◎Norman, Herbert: 雁信録 p.150, 151 (1947/9/23) B1-③-1/26
- 6 : ◎Robinson, Joan 手紙と写真 (バインダー)
- 7 : ◎Galbraith 来日の時の対談の写真(1963,1985)と手紙 (1946/1/5)
- 8 : ◎Leontief, Wassily 手紙と写真
- 9 : ◎Otto, Max: 雁信録 p.20 (B1-②-11:1932/10/5) p.27(B1-②-11:1960/8/17) ,
- 10 : ◎Sweezy, Paul 手紙と写真 (バインダー)

M:写真パネル(左側壁面)

(左から順に)：できるだけ展示ケースの関係あるものを近くに配置する

M1：◎キーマンの手紙と写真

M2: ◎ノーマン

F3

：昭和23年 於カナダ公使館 ノーマン夫妻

：1948年秋 鈴木安蔵氏宅にて

：ローマにあるノーマンの墓 (コメント付き)

- M3 : ◎1957年にハーヴァード大学経済学部が都留のために催した送別会
 : 都留、セイモア・ハリス、ロバート・ブラウン I 3
- M4 : ◎1946年6月2日付け、都留→Galbraith への手紙。
 ESS で働き始めたとの文章あり、投函されなかった(?)
 : 1978年 Galbraith 来日の折の写真 F5
- M5 : ◎笠信太郎氏手紙 甲-35
- M6 : ◎大内兵衛氏の手紙と 1950年昭和天皇にご進講のあとの午餐への招待状 X-5
 有澤廣巳、中山伊知郎、東畑精一、大内兵衛、都留の教授グループ 5人でご進講
- M7 : ◎シャープ勧告時の写真もう 1枚(1949/8/26)と対談の写真(1950/9/21) 於帝国ホテル(2枚とも)
 (シュンペーター黒アルバムより)
- M8 : ◎写真 平和問題談話会の会合、フェビアン研究所創立記念撮影(1950) ケース C
- M9 : ◎1952年 IEA (?) 左から Samuelson, Tinbergen, 都留, Haberler E2
- M10 : ◎ECAFE 1954, 1964 Bangkok
- M11 : ◎(キャプションなし) E6
 左上 : Samuelson と Tinbergen
 右 : Gottfried Haberler (?) 4th IEA Congress, Hungary 1974
- M12 : ◎[左] : 1973年国際経済学会「健康と医療の経済学」シンポジウム 於東京 K1
 : 右上 : 1974年 IEA Budapest
 : 右下 : 1982年 IEA Cambridge, England (?) (キャプションなし)
- M13 : ◎(キャプションなし)
 1969 ローマ、1962 国際経済学会ウイーン
- M14◎写真 統計研究会(1957) G1
- M15◎写真 公害国際シンポジウム(1970.3)参加者一同 附人名コピー
- M16 : ☆日本環境会議 第1回 ポスター H-⑫-8
- M17 : ◎(キャプションなし) F6
 : 左上 : 1974(?) Sir Eric Roll の別荘で
 : 左下 : 昭和 54年(1979) 11月 Sweezy 来日の折。後は柴田徳衛氏夫妻(?)
 : 右 : Leontief 来日の折 (1989?)
- M18 : ◎昭和 33年(1958) 日経新聞の招聘で来日した Alvin Hansen 夫妻と円城寺氏 D2
- M19 : ◎1970年 New York 郊外の Sweezy 宅ベランダにて (Sweezy 夫妻と) E7
- M20 : ◎昭和 37年(1962) 1-2月 来日した Robert Triffin 夫妻 D3
- M21 : ◎昭和 30年(1955) 5月 Joan Robinson 経済研究所で講義
 D1
- M22 : ◎Martin Bronfenbrenner (キャプションなし) D4
 左 : 毎日エコノミスト座談会 昭和 27年 3月 8日
 右 : 経済研究所で講義 昭和 24年 及び 自筆葉書

- M23 : ◎昭和 17 年(1942) 6 月 交換船で帰国時の Samuelson 電報 及び Samuelson 直筆
 (「交友抄」掲載) F1, B1-①-9
- M24 : ◎昭和 46 年(1971) Samuelson 夫妻と。修学院離宮にて。 E5
- M25 : ◎サムエルソン夫妻 1939 年頃 (結婚直後) : (キャプションなし) E3
- M26 : ◎昭和 34 年(1959) 来日した Samuelson と。日光にて。 E1
- M27 : ◎Samuelson の 6 人の子供達の写真 (1957?)と(1958?)とクリスマスカード
- M28 : ◎昭和 14 年(1939) 9 月 19 日コネティカット,タコニックのシュンペーター先生の別荘にて
 F2
- M29 : ◎昭和 35 年(1960) 6 月ハーヴァード学部卒業後 25 周年記念行事に参加 I 5
- M30 : ◎同年 6 月 13 日 ボストン・シンフォニーホールにて会食 I 6
- M31 : ◎昭和 60 年(1985)2 月 5 日 ハーヴァード名誉学位授与を知らせる手紙 I 1
- M32 : ◎昭和 60 年(1985) 6 月ハーヴァード大学名誉学位授与。ガルブレイス氏がエスコート。I 4
 : 右は当時の総長 Bok 氏と。 I-②-18/1

N:写真パネル(正面壁面)

- N1:◎自筆色紙：額入り。毛利さわ子氏所蔵。(展示会終了後返却)
- N2:◎昭和 47 年(1972) 8 月 大学院時代からの親友 Russ Nixon と。熱海大観荘プールにて D6
- N3 : ◎「背広ゼミ小史」刊行記念夕食会 昭和 56.5.16 於吉兆 G5
- N4 : ◎1963 年忘年会 一橋大学陸上競技部 於赤坂都留邸 1964 年 G4
 : 都留ゼミ 1975
- N5 : ◎1979 中国社会科学院から招待され、日中文化交流委員会から派遣。 J4
 : 下の写真は旧学長室
- N6 : ◎都留氏写真 2 枚 (IEA 1982) と奥様の写真
- N7 : ◎昭和 54 年(1979)Asahi Business の Memorable and Quotable J9
 コラムに描いた直筆似顔絵。Galbraith の似顔絵パネルにあり
 左 から Dennis H. Robertson(1890-1963), Johan K. Galbraith(1908-), Lincoln Steffens(1866-1936)
- N8 : ◎上 : 北アルプスにて K3
 中 : 昭和 61 年(1986) 5 月 大分市講演旅行。野上弥生子文学碑の前で
 下 : 平成 13 年 5 月 13 日都留先生の卒寿をお祝いする会 於ホテルオークラ、星雲の間
- N9 : ◎Delhi 1952 ラオ氏の写っている写真
- N10 : ◎清水崑画伯による「都留重人似顔絵」(1970/3/9 日経夕刊「ズームアイ」挿絵原画)
- N11 : ◎昭和 51 年(1976) 6 月 29 日「都留重人著作集」出版祝賀会、如水会館にて J 1
 : 平成 5 年(1993) [頃の写真]
- N12 : ◎昭和 24 年(1949) 所長就任の頃の経済研究所スタッフ 於 : 附属図書館前 K5
- N13 : ◎昭和 29 年(1954) タイへ出張中の都留所長あての経済研究所員寄せ書き K6

N14 : ◎1975年3月26日 一橋大学評議会 (学長として最後のもの : 右端大川政三) J3
: 所長会議 1965年

N15 : ◎左 : 昭和28年(1953)「世界」座談会 於 : 芝、角正 K4
有澤広巳、脇村義太郎、大内兵衛、美濃部亮吉、都留重人
: 右 : 1953-54頃 中山伊知郎、阿倍能成、都留

N16: ☆有澤広巳氏の手紙 ([1949]/4/9)

テーブル A

★ 著作集出版祝賀会(1976.6.29)写真アルバムコピー : 参加者名前封入済。抜粋
→カラーコピーしてバインダーで出品

テーブル B

都留重人著作目録(2004/10/25 現在)